

「ロタウイルスワクチン」は 10月1日(木)から「定期接種」になります

詳しくは☎健康増進課☎786-1855

- 対象▶** 「令和2年8月1日以降」に生まれ、「10月1日以降」に接種する人
※9月30日(水)までに接種した場合、任意接種(有料)となります。
- 接種時期・接種回数▶**
- ・ロタウイルスワクチンは2種類あり、同様の効果があります。
 - ・2回接種を受けるものと3回接種を受けるものがあります。同じワクチンで、決められた回数を接種しましょう。

ワクチン名	ロタリックス (経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン(1価))	ロタテック (5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン(5価))
接種時期	生後6週0日~24週0日まで ※1回目は、14週6日までに受けましょう。	生後6週0日~32週0日まで
接種回数	2回接種 (27日以上間隔をあける)	3回接種 (27日以上間隔をあける)

接種方法▶

調べる

市内実施医療機関



桶川市健康事業のお知らせ

検索

調べる

市外医療機関

窓口 電話



健康増進課へ問合せ

接種

桶川市 対象者 実施医療機関

予診票 予診票 母子手帳

市から予診票を送付 直接、医療機関へ予約 接種(予診票・母子手帳を持参)

※予診票は、生後2か月ごろまでにお送りします。転入などで、予診票がない場合は、健康増進課(保健センター内)でお渡ししますので、母子手帳を持参し来所してください。

任意の予防接種(予防接種費用の助成)

ロタウイルス定期予防接種対象外で、ロタウイルス予防接種を桶川市、北本市、伊奈町、鴻巣市の実施医療機関で受ける場合は、接種費用の一部(7,500円)を2回まで助成しています。

接種を希望する場合は、直接、実施医療機関へ申し込み、接種当日に7,500円を差し引いた額を医療機関へお支払いください。

対象▶ 令和2年7月31日生まれまで
助成回数▶ 2回
助成できる接種期間▶ 生後6週0日~24週0日までの接種

※24週1日以降に接種した場合の助成はありません。
※1回目は14週6日までに接種しましょう。

糖尿病性腎症重症化予防プログラムを活用しましょう

国民健康保険の被保険者を対象に、糖尿病性腎症(※)の重症化リスクの高い人へ、「糖尿病性腎症重症化予防プログラムのご案内」を8月に郵送しています。

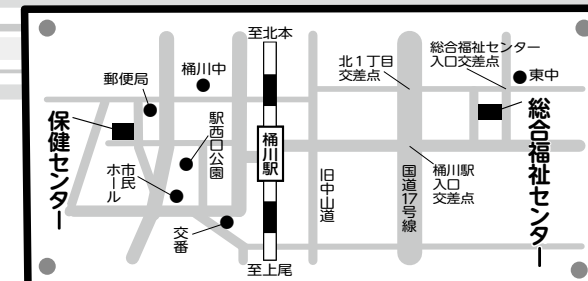
適切な食事・運動などを知る良い機会ですので、ぜひ参加してください。

また、糖尿病の治療が必要な人や治療を中断した人には、医療機関への受診のお知らせを8月に郵送しています(電話または訪問などでご案内する場合があります)。

糖尿病は、様々な病気のリスクを高めます。さらに合併症にかかること、日常生活に大きな影響を及ぼします。早期発見と継続的な治療、そして食事や運動面での生活習慣の改善が重要です。この機会にぜひ受診してください。

※糖尿病性腎症とは：
糖尿病の合併症の一つです。高血糖状態が続くことにより、腎臓の機能が損なわれ、血液中の老廃物を尿として排出できなくなり、最終的には腎不全となる危険な病気です。

詳しくは☎保険年金課☎788-49



健康増進課
☎786-1855
FAX 786-0096

※新型コロナウイルスの状況を鑑みて、急遽中止・延期となる場合があります。開催状況はホームページで確認してください。

こどもの健康診査



種別	とき	ところ	受付時間	内容
4か月児健診	9月11日(金)	保健センター	13:15~14:10	診察、身体計測 持ち物 母子健康手帳、健診票、バスタオル
7か月児・10か月児相談	〈高崎線東側〉 9月1日(火) 10月6日(火)	総合福祉センター 2階児童館	9:30~10:30	保健師による身体観察、身体計測 ※対象児は、7か月児と10か月児です。 高崎線をはさんで、東側は総合福祉センター、西側は保健センターで行います。 その他、電話でご相談ください。 持ち物 母子健康手帳、バスタオル
	〈高崎線西側〉 9月7日(月) 10月12日(月)	保健センター		
1歳6か月児健診(個別通知あり)	9月23日(水)	総合福祉センター 2階児童館	13:15~14:10	内科・歯科診察、身体計測 持ち物 母子健康手帳、問診票、バスタオル
3歳3か月児健診(個別通知あり)	9月18日(金)	保健センター	13:15~14:10	内科・歯科診察、身体計測、検尿 持ち物 母子健康手帳、問診票
フッ素塗布(※有料)	9月28日(月) 11月2日(月)		1回目 13:30~14:00 2回目以降 14:00~14:30	1歳6か月児健診終了児、6か月ごとに塗布します。 持ち物 母子健康手帳 費用1,430円(税込) ※現金のみ 問合せ☎口腔保健センター(北足立歯科医師会) ☎048-596-0275

母子健康相談



種別	とき	ところ	受付時間	対象および内容	定員
マタニティクラス 《要予約》*1	10月8日(木) 14:00~16:00	保健センター	13:45~14:00	妊娠16~32週の妊婦 プレママカフェ：お茶を飲みながら交流会、妊娠中の栄養のとり方などの話 持ち物 母子健康手帳、筆記用具	6人
	10月22日(木) 13:30~16:30		13:15~13:30	妊娠20~35週の妊婦(夫も可) 出産準備クラス：妊娠経過から出産の話、安産体操、交流会 持ち物 母子健康手帳、筆記用具	6人
パパママ体験クラス 《要予約》*1	9月5日(土) 10月3日(土) 10:00~12:00	保健センター	9:45~10:00	妊娠24~36週の妊婦と夫(祖父母になる人歓迎) 赤ちゃんのお風呂の入れ方、育児について 持ち物 母子健康手帳、筆記用具	6組
赤ちゃんサロン				新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて、当面の間中止します。	

注)・母子健康相談については、保育はありませんので、対象児以外のお子さんを連れての参加はご遠慮ください。
・育児・栄養相談は個別対応いたします。
*1) 実施日の1週間前までに、電話で申し込みください。

おとなの健康相談



種別	とき	ところ	受付時間	対象および内容
お立ち寄り健康相談	9月8日(火) 11月16日(月)	保健センター	9:30~11:00	対象成人 内容 血圧測定、生活習慣病予防・バランスのよい食事のとり方などの相談 ※気軽に立ち寄りください! ※奇数月のみの開催になります。
家族のつどい	9月24日(木)		14:00~16:00	対象 統合失調症の疾患を持つ患者の家族 内容 統合失調症の疾患を持つ患者の家族が悩みを語り合い、気持ちを分かち合う会です。

※保健センターの駐車場は数に限りがありますので、ご了承ください。

情報ステーション
健康ステーション
いっしょに頑張りましょう
まちの話
市民伝言板

健康ステーション
いっしょに頑張りましょう
まちの話
市民伝言板

いきいきウォーキング
〜正しいウォーキングを
学びませんか〜



内容▼多世代の健康増進に向けたウォーキング指導、日常で取り入れられるトレーニングなど、一緒に学びませんか。

とき▼10月26日(月)午前10時〜正午
(午前9時30分受付開始)

ところ▼サン・アリーナ

対象▼市内在住・在勤の人

定員▼100人(先着順)

費用▼一人50円(保険代)

※当日集金

持ち物▼汗拭きタオル、飲み物、
体育館シューズ

講師▼第一生命保険株式会社 女
子陸上競技部OG

申込み▼9月2日(水)〜10月16日(金)
の平日午前9時〜午後5時に、電話
でスポーツ振興課(☎788-4972)
または、健康増進課(☎786-1855)
へ。

がんワンストップ電話相談

内容▼「働くがん患者」の治療と
仕事の両立を支援するため、複数の
専門職による電話相談会

とき▼9月3日(木)・18日(金)午後6
時15分〜8時30分(最終受付午後8

時) ※10月以降の日程は、県ホームページで確認(毎月2回開催)
対象▼県内在住または在勤の就労
中のがん患者(休職中も含む)

費用▼無料

相談対応職種▼看護師、医療ソ
シヤルワーカー、両立支援促進員

申込み▼事前に県疾病対策課(☎
830-3651)へ。

献血した人には、
記念品をプレゼント
するべに♪



9月の献血

とき	9月10日(木)
ところ	桶川駅西口
時間	午前10時〜11時45分 午後1時〜4時
対象者	16〜64歳の健康な人(400mlは男性17歳以上、 女性18歳以上。60〜64歳に献血したことのある 人は69歳まで可能です。)
主催	桶川イブニングロータリークラブ

・受付時に運転免許証、パスポート、健康保険証などで本人確認しています。
・感染症防止に配慮して実施しています。

詳しくは☑健康増進課 ☎786-1855

健康づくり
幸せづくり

野球肘

「野球肘」と聞くとヤンキースの田中選手や、エンゼルスの大谷翔平選手などプロ野球選手の肘のケガを思い浮かべる人もいるかもしれませんが。でも実は小中学生などの成長期の子供にも起こる肘のケガです。ここでは子供に起こる「野球肘」の話をしたしたいと思います。

それはボールをたくさん投げることによって、成長期の柔らかい骨や靭帯に負担がかかり、肘の骨や軟骨が傷んだり、剥がれたりしてしまったり起こります。

症状は投球後に起こる肘の内側や外側、そして後ろ側の痛みです。最初はボールを投げた後に痛みを感じる程度ですが、症状が進行するとボールを投げなくても痛みを感じたり、肘が真っ直ぐに伸びなくなったりします。

診断は問診や触診、それにレントゲン、超音波、MRIなどを使って行います。レントゲン検査は両側の関節を比べ、骨の全体像

を理解するのに役立ちますし、超音波検査やMRIではレントゲンで見えない骨や軟骨の異常がわかります。

治療は何より肘の安静です。ほとんどのケースはしばらく投球をやめて、安静にしているだけで良くなりますので本人の我慢だけでなく、周囲の理解や協力が欠かせません。野球をしたがるお子さんに投げるなどするのは辛いところですが、周囲の大人の皆さんはお子さんの将来のために運動を制限してください。それでも残念ながら進行してしまった場合には膝の軟骨の一部を肘の骨に移植する骨軟骨移植術が必要になってしまいます。

予防には日頃の管理が大切です。運動後に肘を冷やすこと、肘の内側と外側の筋肉、そして肩や、股関節、体幹のストレッチも欠かせません。また、肘に無理のかけない投球フォームの確認も重要です。

コロナウイルスで今まで運動を控えていたお子さんたちは、ついつい無理をしてしまうかもしれません。大人の皆さんには時々肘の痛みや、肘の動きを確認し、異常があれば早めに整形外科を受診していただくようお願いいたします。

【(社)桶川北本伊奈地区医師会】